

News Release



2010 年 3 月 19 日

ArrayComm LLC
住友電気工業株式会社

アレイコムと住友電工、WiMAX 市場への最新の Radio Head 技術の供給に向け協業 ～住友電工のマルチアンテナ RRH が、アレイコムのビームフォーミング、 MIMO ソフトウェア A-MAS™ との協調動作に対応～

ArrayComm LLC(本社: 米国 イリノイ州、社長: ブルース・ダイセン 以下、アレイコム)と住友電気工業株式会社(本社: 大阪市 社長: 松本正義 以下、住友電工)は、高度な WiMAX 基地局用 Remote Radio Head (以下、RRH)技術の市場への提供に向け協業をすることを本日発表しました。住友電工のマルチアンテナ RRH は MIMO、ビームフォーミング、干渉除去を組み合わせることにより、システム容量とスループットを向上させながら、ネットワークの経済化を実現するアレイコムのマルチアンテナ ベースバンド処理ソフトウェア A-MAS™ とシームレスに組み合わせることができます。

今回の協業により、住友電工の新しい 4 送信・4 受信を実現した RRH は A-MAS™ と互換性が保てるよう、出荷時に予め調整され、また、A-MAS™ による下りリンクのビームフォーミングをより高い精度で実現するためのキャリブレーション機能を組み込みます。無線特性はワールドクラスのベースバンド技術を行うために最適化され、併せて小型化、軽量化、低消費電力化を実現しています。

アレイコムの社長ブルース・ダイセンは「住友電工はモバイルネットワーク市場のトレンドがシステム容量と経済化を最大にするために、4 受信・4 送信基地局に向かっていることを既に認知されています。」と述べ、また「基地局ベンダーは、既製のハードウェアとソフトウェアにより短期間で開発が可能になり、同時に通信事業者はアレイコムの A-MAS™ と RRH の組み合わせで更なるシステム容量を得ることが可能になります。」と述べています。

住友電工のネットワークシステム事業部企画推進部長の浜田洋は「アレイコムのマルチアンテナベースバンド処理ソフトウェア A-MAS™ は顧客満足度に重要な WiMAX の通信品質を更に強化することが出来ます。」と述べるとともに、「私どもの A-MAS™ 対応の 4 送信・4 受信 RRH は基地局設計にとって鍵となる低消費電力化、小型化、軽量化を特徴とし、またグリーンテクノロジー(環境保全テクノロジー)をサポートしています。今回の 2 社による協業は WiMAX ネットワークの総所有コスト削減に、顕著なインパクトがあります。」と述べています。

以上

WiMAX は、WiMAX Forum の米国及びその他の国における商標または登録商標です。

ArrayComm と A-MAS™ は ArrayComm LLC の商標です。

文中に記載されている他社の製品名、サービス名等はそれぞれ各社の商標です。

<ArrayComm について>

ArrayComm LLC は、Ygomi LLC グループ企業として、世界一の実用実績を誇るマルチアンテナ信号処理技術を核に、ワイヤレスブロードバンド通信の高度化に寄与しています。ArrayComm に関する情報は、<http://www.arraycomm.com> で入手できます。

<住友電工について>

住友電工グループは、自動車、情報通信、エレクトロニクス、電線・機材・エネルギー、産業素材の5つの部門それぞれが、グローバルな事業活動を展開し、約世界 30 カ国に約 15 万人を超える社員を擁する企業グループです。住友電工に関する情報は、<http://www.sei.co.jp/index.ja.html> で入手できます。

<本件に関するお問い合わせ先>

ArrayComm LLC:

高橋 偉一郎

電話: 03-6404-8900

FAX: 03-6404-8910

E-Mail: iichiro.takahashi@arraycomm.com

(米国)

Jerry Pioch

電話: +1-630-786-0557

E-Mail: jpioch@arraycomm.com

住友電気工業株式会社:

広報部大阪広報グループ

電話: 06-6220-4119

FAX: 06-6222-6485

広報部東京広報グループ

電話: 03-6722-3103

FAX: 03-6722-3109

E-Mail: web@info.sei.co.jp